

よえん

待ちに待った春!

新しい気持ちで過ごさう!

2014年4月

第 12 号

今月のことば

今年度の食館報「よえん」を発行させていただきます。記念館の現状を知つていただき、記念館を身近に感じていただくため、記念館からの数信だけでなく、地域の皆様からのご意見を伺うとともに、お気軽に記念館に足を運んでいただきたいと考えております。昨年度から引き続き種々のボランティアの皆様にお世話をになっております。感謝! 感謝!

今年度の職員は次の3名です。

嘱託職員：横井 正

臨時職員：橋口寿司・西川栄子

よろしくお願ひ申し上げます。

エリーズ
よえん

大洲のよえんさん
—独学のよえんさん—

よえんさんは、先生に習わずに一人で二つ二つ勉強をしていました。

17才のとき、よえんさんにも学問を教えてもらえるような先生が京都からやってきました。

その人は、あ坊さんでした。

『論語』という子し子と弟子のあ話しをまとめた本を講義しに来たのです。

しかし、武士たちは「武芸をみかくことが一番大切だ」と見向きもしませんでした。

そのため、あ話しを聞きに行った武士は

よえんさんただ一人でした。

あ坊さんの講義は日がたつにつれて人數が減り、途中で終わってしまいましたが、よえんさんはあ坊さんの話

をきいて勉強のしかかり分かったので自信がつきました。



書・渕田瑞穂さん
出典：藤樹先生全集二

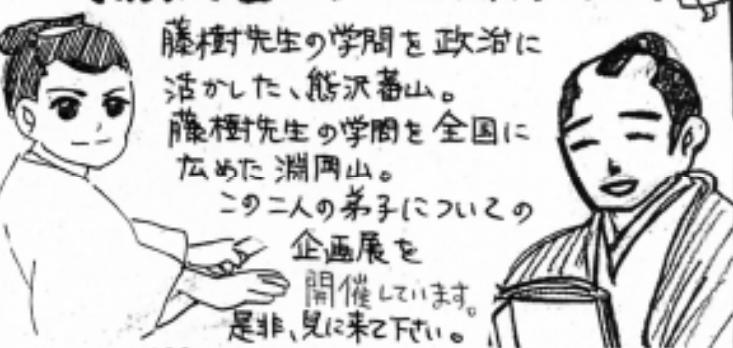
人のよきを
よくほめて
広むべし
あやかることの
ありやせんもし。

「人の良い行いをよくほめて、多くの人に伝えてみましょう。そうすれば、自分もあやかって、良い行いをなすことがあるかもしれません。」という意味の藤樹先生の和歌です。

人の悪い面ばかりを見るのではなく、良い面を見て、ほめることが大切なのはないでしょうか。

第25回小企画展
中江藤樹の高弟

双壁
くまざわ はんじゆ かわ はくち 二ラゼン
熊沢蕃山・渕岡山



藤樹先生の学問を政治に活かした、熊沢蕃山。

藤樹先生の学問を全国に広めた渕岡山。

この二人の弟子についての企画展を

開催しています。
是非、見て下さい。

2014.4.1 ▶ 2014.9.30 マテ

近江聖人 中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69

TEL・FAX

(0740)-32-0330